



# 平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月27日

上場取引所 大

上場会社名 新内外綿株式会社

コード番号 3125 URL <http://www.shinnaigai-tex.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 福井 眞吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営業務部長 (氏名) 長門 秀高

定時株主総会開催予定日 平成24年6月20日 配当支払開始予定日 平成24年6月21日 TEL 06-4705-3781

有価証券報告書提出予定日 平成24年6月21日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期の連結業績(平成23年3月26日～平成24年3月25日)

### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期	4,954	△5.6	99	△68.5	100	△68.0	47	△73.5
23年3月期	5,246	19.6	315	13.1	314	15.2	178	23.3

(注) 包括利益 24年3月期 140百万円 (△21.1%) 23年3月期 178百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
24年3月期	2.42	—	2.0	2.3	2.0
23年3月期	9.14	—	7.8	7.4	6.0

(参考) 持分法投資損益 24年3月期 一百万円 23年3月期 一百万円

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期	4,228	2,467	58.4	126.11
23年3月期	4,385	2,366	54.0	120.92

(参考) 自己資本 24年3月期 2,467百万円 23年3月期 2,366百万円

### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
24年3月期	78	△56	△47	68
23年3月期	113	△170	32	90

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
23年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00	39	21.9	1.7
24年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00	39	82.5	1.6
25年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00		32.6	

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年3月26日～平成25年3月25日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,550	0.6	105	80.9	105	84.5	64	102.1	3.27
通期	5,200	5.0	200	101.0	200	98.9	120	153.1	6.13

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料12ページ「(7)連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期	19,598,000 株	23年3月期	19,598,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期	31,928 株	23年3月期	30,605 株
③ 期中平均株式数	24年3月期	19,566,537 株	23年3月期	19,568,247 株

(参考)個別業績の概要

平成24年3月期の個別業績(平成23年3月26日～平成24年3月25日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期	4,954	△5.6	81	△70.1	88	△67.3	45	△70.8
23年3月期	5,246	19.6	273	24.6	271	20.7	154	27.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期	2.31	—
23年3月期	7.92	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
24年3月期	4,335		2,488		57.4		127.17	
23年3月期	4,454		2,388		53.6		122.08	

(参考) 自己資本 24年3月期 2,488百万円 23年3月期 2,388百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績(1)経営成績に関する分析」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	2
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当	2
2. 企業集団の状況	3
3. 経営方針	4
(1) 会社の経営の基本方針	4
(2) 目標とする経営指標	4
(3) 中長期的な会社の経営戦略	4
(4) 会社の対処すべき課題	4
4. 連結財務諸表	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 継続企業の前提に関する注記	12
(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項	12
(7) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更	12
(8) 表示方法の変更	12
(9) 追加情報	12
(10) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(開示の省略)	12
(連結包括利益計算書関係)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

## 1. 経営成績

### (1) 経営成績に関する分析

当連結会計年度におけるわが国の経済は、リーマンショックのあった平成20年度末を底に穏やかな回復基調にありましたが、平成23年3月11日に発生しました東日本大震災による影響が、初期においては消費マインドの悪化を、その後においては原発問題に端を発した電力不足を招き、非常に不透明な中推移しました。また、特に製造業に対しては、昨年来の超円高による海外製品の更なる流入増加が業績を厳しく圧迫しました。これに加え、海外においては、欧州政府債務危機の影響が引き続き尾を引いており、当面原油価格の動向も踏まえ、不透明な状況が続くものと予想されます。

このような状況のもとで、当社グループ紡績部門におきましては、「はやいや〜ん」と名づけた小ロット・多品種・短納期生産販売システムの一層の進化と全国繊維産地巡回展示会開催等による新たな販路開拓に努めましたが、東日本大震災による諸処の影響、円高による海外製品との価格競争激化などの影響を大きく受け、厳しい業績となりました。この結果、同部門の売上高は30億11百万円となり、前連結会計年度比2億75百万円(8.4%)の減収となりました。テキスタイル・製品部門におきましても、当社の得意とするテンセル素材を中心に、国内生産および中国オペレーションによる差別化、価格優位性強化に努めましたが、同様の影響を受け、同部門の売上高は19億42百万円となり、前連結会計年度比16百万円(0.8%)の減収となりました。

また、一昨年来の原料価格(原綿、合繊綿)の異常な高騰による影響が、当初の予想を超え当期全般を通じて当社のコストを圧迫したことにより、利益面で大きな打撃を受けました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は49億54百万円(前連結会計年度比2億92百万円の減少)となり、利益面におきましても営業利益は99百万円(同2億16百万円の減少)、経常利益は1億円(同2億13百万円の減少)となりました。法人税、住民税及び事業税並びに法人税等調整額として計53百万円を計上しました結果、当期純利益は47百万円となり、前連結会計年度比1億31百万円の減益となりました。

また、財務体質の改善につきましては、有利子負債の圧縮を図りましたが、有利子負債は1億69百万円となり、前連結会計年度末比で8百万円の減少となりました。

次期見通しにつきましては、為替や石油価格の動向を含めた国内外の諸情勢を勘案し、売上高は52億円、経常利益は2億円を予想しております。

### (2) 財政状態に関する分析

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の資産につきましては、前連結会計年度末比1億57百万円減の42億28百万円となりました。これは主として売上債権及び有形固定資産の減少によるものです。負債につきましては、前連結会計年度末比2億58百万円減の17億60百万円となりました。これは主として仕入債務、未払法人税等及び再評価に係る繰延税金負債等の減少によるものです。純資産につきましては、前連結会計年度末比1億1百万円増の24億67百万円となりました。これは主として土地再評価差額金の増加によるものです。この結果、自己資本比率は58.4%となりました。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末の連結ベースの現金及び現金同等物は、68百万円となり、前連結会計年度末比22百万円減少しました。

連結キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

##### ・ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、78百万円(前連結会計年度比35百万円の減少)となりました。

これは主として、税金等調整前当期純利益(1億円)、減価償却費(1億19百万円)、売上債権の減少額(1億10百万円)等の増加と、棚卸資産の増加額(8百万円)、仕入債務の減少額(79百万円)、法人税等の支払額(1億67百万円)等の減少によるものです。

##### ・ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、56百万円(前連結会計年度比1億14百万円の減少)となりました。

これは主として、有形固定資産の取得によるものです。

##### ・ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、47百万円(前連結会計年度比80百万円の増加)となりました。

これは主として、長短借入金の減少(8百万円)及び配当金の支払(39百万円)によるものです。

### (3) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社グループは、財務体質と経営基盤の強化を図るとともに、株主各位に対しまして、安定した配当の維持及び適正な利益還元を行うことを最重要課題としております。内部留保金につきましては、中長期的な展望に立った新製品・新事業の開発、国内外の新市場開拓及び経営体質の効率化など企業価値を高めるための投資に活用し、企業体質と企業競争力のさらなる強化に取り組んでまいります。

当期の配当につきましては、1株当たり2円の配当を実施する予定であります。

## 2. 企業集団の状況

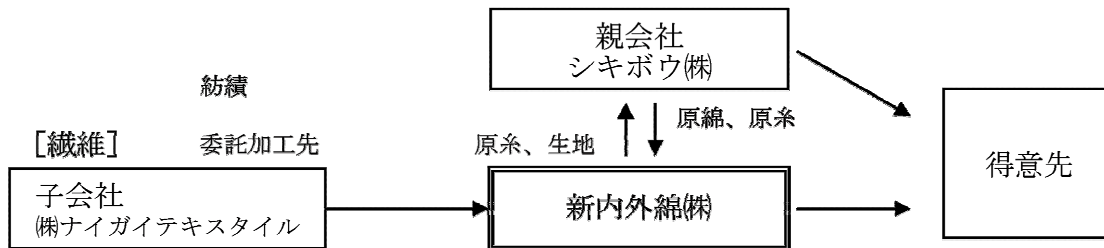
当社の企業集団は、当社、親会社1社及び子会社1社で構成され、繊維製品の製造販売を主な事業内容としております。

その内容は次のとおりであります。

当社は糸、織編物生地及び衣料品の製造、加工及び販売を行っており、糸の製造は連結子会社の(株)ナイガイテキスタイルに委託しています。

また、当社は親会社のシキボウ(株)より原綿、原糸の一部を購入しており、同社は原糸及び生地の一部を当社より購入しております。

以上述べた事項を事業系統図によって示すと、次のとおりであります。



### 3. 経営方針

#### (1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、柔軟な技術やソフトによる革新的なもの作りをもって、健康に配慮し地球環境への貢献を目指し、衣料文化を育み生活を豊かにして、利益成長を継続しながら社会につくします。

#### (2) 目標とする経営指標

今年度より執行いたします新3ヵ年計画においては、計画最終年度の平成27年3月期の業績目標として、連結売上高60億円、経常利益3億円を掲げております。

#### (3) 中長期的な会社の経営戦略

中長期的な経営戦略といたしましては、新中期計画でテーマとして掲げております《確実なる成長》を着実に達成すべく取り組んでおります。

#### (4) 会社の対処すべき課題

国内繊維業界は東日本大震災の影響や超円高の影響の下、引き続き不透明かつ厳しい状態が続いております。

このような経営環境のもとで、当社グループといたしましては、基本路線であります競争優位の確立を高めるため、以下のような方針で進めてまいります。

- ① 当社の強みである生産・販売（多品種・小ロット・短納期）については国内ナンバーワンを目指す。
- ② 生産・販売両面での海外（対象国、商材、商流）比率を高める。
- ③ 各分野において製品化を高める。
- ④ 商品開発・企画開発・非衣料を含めた新規商品開発の増強に努める。

特に国外の新市場開拓に関しましては、本年度より「海外戦略室」を新設し、海外生産・調達を含めた同業務の積極的なサポートを展開します。また、友好関係にある中国の貿易商及び協力関係にある国内産地企業11社と協働でテキスタイルの中国内販プロジェクトチーム「彩り」を結成、今後取り組みを加速いたします。

以上の諸施策により、さらに収益力を強化してまいり所存であります。

4. 連結財務諸表  
 (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月25日)	当連結会計年度 (平成24年3月25日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	90,707	68,164
受取手形及び売掛金	1,221,730	1,111,096
商品及び製品	373,115	487,800
仕掛品	56,938	59,671
原材料及び貯蔵品	273,126	163,996
未収還付法人税等	—	25,539
繰延税金資産	41,333	24,862
その他	30,048	51,290
貸倒引当金	△857	△1,232
流動資産合計	2,086,143	1,991,190
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,779,703	1,789,494
減価償却累計額	△1,490,321	△1,525,211
建物及び構築物（純額）	289,381	264,283
機械装置及び運搬具	1,972,788	1,984,700
減価償却累計額	△1,809,254	△1,856,955
機械装置及び運搬具（純額）	163,533	127,745
土地	1,702,657	1,702,657
その他	156,777	151,640
減価償却累計額	△125,984	△133,702
その他（純額）	30,793	17,938
有形固定資産合計	2,186,365	2,112,623
無形固定資産	648	5,401
投資その他の資産		
投資有価証券	3,132	4,982
繰延税金資産	88,379	91,165
その他	25,311	26,084
貸倒引当金	△4,516	△3,200
投資その他の資産合計	112,307	119,032
固定資産合計	2,299,321	2,237,058
資産合計	4,385,464	4,228,249

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月25日)	当連結会計年度 (平成24年3月25日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	655,317	569,647
短期借入金	148,664	165,664
未払法人税等	100,621	—
賞与引当金	41,763	37,970
その他	128,484	126,394
流動負債合計	1,074,852	899,676
固定負債		
長期借入金	29,838	4,174
退職給付引当金	214,713	245,666
長期未払金	9,000	9,000
再評価に係る繰延税金負債	691,052	602,203
固定負債合計	944,604	861,044
負債合計	2,019,456	1,760,720
純資産の部		
株主資本		
資本金	731,404	731,404
利益剰余金	626,089	634,373
自己株式	△2,975	△3,078
株主資本合計	1,354,517	1,362,699
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△853	△175
繰延ヘッジ損益	1,296	5,106
土地再評価差額金	1,011,047	1,099,897
その他の包括利益累計額合計	1,011,490	1,104,829
純資産合計	2,366,008	2,467,528
負債純資産合計	4,385,464	4,228,249



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年3月26日 至 平成23年3月25日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月26日 至 平成24年3月25日)
売上高	5,246,572	4,954,232
売上原価	4,209,734	4,171,508
売上総利益	1,036,838	782,723
販売費及び一般管理費	720,857	683,222
営業利益	315,981	99,501
営業外収益		
受取利息	1,433	889
受取配当金	101	84
為替差益	—	5,383
受取手数料	2,977	573
その他	1,910	1,869
営業外収益合計	6,423	8,801
営業外費用		
支払利息	2,586	3,848
手形売却損	3,122	2,692
為替差損	1,887	—
その他	601	1,211
営業外費用合計	8,198	7,753
経常利益	314,207	100,549
特別利益		
固定資産売却益	—	314
特別利益合計	—	314
特別損失		
固定資産除売却損	5,165	44
環境対策費	3,897	—
特別損失合計	9,062	44
税金等調整前当期純利益	305,144	100,820
法人税、住民税及び事業税	139,719	42,807
法人税等調整額	△13,387	10,593
法人税等合計	126,331	53,401
少数株主損益調整前当期純利益	—	47,419
当期純利益	178,812	47,419

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年3月26日 至 平成23年3月25日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月26日 至 平成24年3月25日)
少数株主損益調整前当期純利益	—	47,419
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	678
繰延ヘッジ損益	—	3,810
土地再評価差額金	—	88,849
その他の包括利益合計	—	※2 93,338
包括利益	—	※1 140,757
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	—	140,757
少数株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年3月26日 至 平成23年3月25日)		当連結会計年度 (自 平成23年3月26日 至 平成24年3月25日)	
	株主資本			
資本金				
前期末残高		731,404		731,404
当期変動額				
当期変動額合計		—		—
当期末残高		731,404		731,404
資本剰余金				
前期末残高		—		—
当期変動額				
当期変動額合計		—		—
当期末残高		—		—
利益剰余金				
前期末残高		486,415		626,089
当期変動額				
剰余金の配当		△39,138		△39,134
当期純利益		178,812		47,419
当期変動額合計		139,673		8,284
当期末残高		626,089		634,373
自己株式				
前期末残高		△2,825		△2,975
当期変動額				
自己株式の取得		△150		△102
当期変動額合計		△150		△102
当期末残高		△2,975		△3,078
株主資本合計				
前期末残高		1,214,994		1,354,517
当期変動額				
剰余金の配当		△39,138		△39,134
当期純利益		178,812		47,419
自己株式の取得		△150		△102
当期変動額合計		139,523		8,181
当期末残高		1,354,517		1,362,699

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年3月26日 至 平成23年3月25日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月26日 至 平成24年3月25日)
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	△399	△853
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△454	678
当期変動額合計	△454	678
当期末残高	△853	△175
繰延ヘッジ損益		
前期末残高	1,154	1,296
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	142	3,810
当期変動額合計	142	3,810
当期末残高	1,296	5,106
土地再評価差額金		
前期末残高	1,011,047	1,011,047
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	—	88,849
当期変動額合計	—	88,849
当期末残高	1,011,047	1,099,897
その他の包括利益累計額合計		
前期末残高	1,011,802	1,011,490
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△311	93,338
当期変動額合計	△311	93,338
当期末残高	1,011,490	1,104,829
純資産合計		
前期末残高	2,226,796	2,366,008
当期変動額		
剰余金の配当	△39,138	△39,134
当期純利益	178,812	47,419
自己株式の取得	△150	△102
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△311	93,338
当期変動額合計	139,211	101,520
当期末残高	2,366,008	2,467,528

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年3月26日 至 平成23年3月25日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月26日 至 平成24年3月25日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	305,144	100,820
減価償却費	133,010	119,852
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	729	△942
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	13,757	30,953
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,229	△3,793
受取利息及び受取配当金	△1,535	△973
為替差損益 (△は益)	1,465	△2,733
支払利息	2,586	3,848
固定資産除売却損益 (△は益)	5,165	△270
売上債権の増減額 (△は増加)	△141,214	110,633
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△242,973	△8,288
未収入金の増減額 (△は増加)	△10,534	3,266
仕入債務の増減額 (△は減少)	71,158	△79,156
未払金の増減額 (△は減少)	△10,301	△923
未払費用の増減額 (△は減少)	11,881	△4,358
預り金の増減額 (△は減少)	4,864	1,479
その他	2,992	△20,158
小計	149,426	249,255
利息及び配当金の受取額	1,535	973
利息の支払額	△2,610	△3,812
法人税等の支払額	△34,674	△167,780
営業活動によるキャッシュ・フロー	113,677	78,636
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△172,871	△52,924
有形固定資産の売却による収入	184	1,097
無形固定資産の取得による支出	—	△4,753
投資有価証券の取得による支出	△699	△682
長期貸付金の回収による収入	3,282	—
その他	53	1,255
投資活動によるキャッシュ・フロー	△170,049	△56,007
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	28,000	20,000
長期借入れによる収入	80,000	—
長期借入金の返済による支出	△36,198	△28,664
自己株式の取得による支出	△150	△102
配当金の支払額	△38,768	△39,138
財務活動によるキャッシュ・フロー	32,882	△47,905
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,465	2,733
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△24,955	△22,543
現金及び現金同等物の期首残高	115,663	90,707
現金及び現金同等物の期末残高	90,707	68,164

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

最近の有価証券報告書（平成23年6月20日提出）における記載から下記（7）を除き、重要な変更がないため開示を省略しております。

(7) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更

前連結会計年度 (自 平成22年3月26日 至 平成23年3月25日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月26日 至 平成24年3月25日)
—————	<p>（資産除去債務に関する会計基準の適用）</p> <p>当連結会計年度より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。</p> <p>これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益に与える影響はありません。</p>

(8) 表示方法の変更

前連結会計年度 (自 平成22年3月26日 至 平成23年3月25日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月26日 至 平成24年3月25日)
—————	<p>（連結損益計算書）</p> <p>当連結会計年度より、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づき、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）を適用し、「少数株主損益調整前当期純利益」の科目で表示しております。</p>

(9) 追加情報

前連結会計年度 (自 平成22年3月26日 至 平成23年3月25日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月26日 至 平成24年3月25日)
—————	<p>当連結会計年度より、「包括利益の表示に関する会計基準」（企業会計基準第25号 平成22年6月30日）を適用しております。ただし、「その他の包括利益累計額」及び「その他の包括利益累計額合計」の前連結会計年度の金額は、「評価・換算差額等」及び「評価・換算差額等合計」の金額を記載しております。</p>

(10) 連結財務諸表に関する注記事項

（開示の省略）

リース取引、関連当事者との取引、税効果会計、金融商品、有価証券、デリバティブ取引、退職給付、ストック・オプション等、企業結合等、資産除去債務、賃貸等不動産に関する注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略しております。

## (連結包括利益計算書関係)

当連結会計年度(自 平成23年3月26日 至 平成24年3月25日)

## ※1 当連結会計年度の直前連結会計年度における包括利益

親会社株主に係る包括利益	178,501千円
少数株主に係る包括利益	—
計	178,501

## ※2 当連結会計年度の直前連結会計年度におけるその他の包括利益

その他有価証券評価差額金	△454千円
繰延ヘッジ損益	142
計	△311

## (セグメント情報等)

## a. 事業の種類別セグメント情報

前連結会計年度(自平成22年3月26日 至平成23年3月25日)

当社グループは、専ら繊維事業及びこれに付帯する事業を営んでいますので、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

## b. 所在地別セグメント情報

前連結会計年度(自平成22年3月26日 至平成23年3月25日)

在外連結子会社及び在外支社がないため、所在地別セグメント情報は記載しておりません。

## c. 海外売上高

前連結会計年度(自平成22年3月26日 至平成23年3月25日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

## d. セグメント情報

当連結会計年度(自平成23年3月26日 至平成24年3月25日)

当社グループは、専ら繊維事業及びこれに付帯する事業を営んでいますので、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

## e. 関連情報

当連結会計年度(自平成23年3月26日 至平成24年3月25日)

該当事項はありません。

## f. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

当連結会計年度(自平成23年3月26日 至平成24年3月25日)

該当事項はありません。

## g. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

当連結会計年度(自平成23年3月26日 至平成24年3月25日)

該当事項はありません。

## h. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

当連結会計年度(自平成23年3月26日 至平成24年3月25日)

該当事項はありません。

## (追加情報)

当連結会計年度(自平成23年3月26日 至平成24年3月25日)

当連結会計年度より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

## (1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成22年3月26日 至 平成23年3月25日)		当連結会計年度 (自 平成23年3月26日 至 平成24年3月25日)	
1株当たり純資産額	120円92銭	1株当たり純資産額	126円11銭
1株当たり当期純利益	9円14銭	1株当たり当期純利益	2円42銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成22年3月26日 至 平成23年3月25日)	当連結会計年度 (自 平成23年3月26日 至 平成24年3月25日)
当期純利益 (千円)	178,812	47,419
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益 (千円)	178,812	47,419
期中平均株式数 (株)	19,568,247	19,566,537

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。